
遊戯王GX 未来から来た鯨とデュエルアカデミアのデュエル馬鹿

シャークのファン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX 未来から来た鯨とデュエルアカデミアのデュエル馬鹿

【Nコード】

N8169Y

【作者名】

シャークのファン

【あらすじ】

神代凌牙ことシャーク。彼はWDCの最中、何らかの理由によって崖から落ちてしまう。九十九遊馬に自分のエース『ブラック・レイ・ランサー』を託して…目が覚めるとそこは過去、次世代のデュエリストを育成するデュエルアカデミア！そこでシャークは最強の引き（ドロー）を持ちカードの精霊と心を通わす少年、後に伝説と呼ばれしデュエリスト、遊城十代と出会う……

ブローグ 落ちて堕ちて墜ちて行く・・・

「遊馬、離せ！」

「ダメだシャーク！」

俺は崖から落ちそうになっている。
それを遊馬が手を掴んで止めている状態。

どうしてこうなったかはわからない。だが、このままでは遊馬まで落ちてしまうのには変わりない。

「バカか！お前はデュエルチャンピオンになるんだろ！？こんなところで死ぬつもりか！」

「だからって仲間を見捨てられるかよ！」

「俺も死ぬつもりなんてねえよ！アイツとは、？とは決着をつけなきゃならねえ！」

俺は死なない。絶対に…！？と決着をつけなきゃならねえんだ。

「だからよ…離せ遊馬。」

「ヤダ！シャーク、この高さわかってんのかよ！こんなところから落ちたら確実に死んじゃうぞ！」

そう。俺の落ちかけている崖はそこも見えないほどの深さ。こんなところから落ちたら戻るところか地面とぶつかって確実に御陀仏だ。

「だからって、お前を犠牲にして落ちるつもりはねえ……！それに俺は死なないと言ったはずだぜ。」

俺は遊馬の腕を《ブラック・レイ・ランサー》のカードを投げつけて少し切る。

紙の鋭さはスゲーな……

「痛ッ！」

遊馬の力が少し抜けた瞬間に俺は腕を振り払った。

「な！シャーク！」

重力に逆らって俺の体は落ちていく。

「遊馬、それ預かつとけ！俺が帰ってきたら返せ！」

俺は《ブラック・レイ・ランサー》を手に持った遊馬に落ちながらそう言った。

「シャーク！シャークウウウウウウ！……！！！」

遊馬の叫び声を聞きながら俺は下へと意識を向ける。

地面が見えない……

結構落ちたがまだ見えない……もしかしたら底なしなんじゃないかと思っほ……

俺の意識は掠れていく……

やべえ…

意識が…

まだ、堕ちちゃいけないのに……

ハハッ、結局大口叩いてこのざまかよ…

聞いて呆れるぜ…

俺はここで終わりか…？

アイツとの決着もつけられずに？

大事な仲間との約束も守れずに？

そんなの認めねえ…

俺は闇の中で意識を落としながらそう思った。
瞬間、俺自身の体に変化が起きたとも分らずに…

ブローグ 落ちて堕ちて墜ちて行く・・・（後書き）

シャークが主人公な小説はじまりはじまり～！

さすがに連載自重します。はい。

設定

《名前》 神城凌牙【通称・シャーク】
かみしろりょうが

《年齢》 14歳・外見年齢16歳

《性格》 遊馬とのデュエルに負けてから少し丸くなり仲間宣言されてからは柔らかい笑みを浮かべるようになった

《好きな事・物》 デュエル・デッキ構築・カード・仲間

《嫌いな事・物》 イカサマ

《精霊》 ペンギン・ソルジャー

《使用デッキ》 水属性デッキ

《詳細》 この作品の主人公。

ZEXALの主人公、遊馬のライバルでありWDCワイルドデュエルカーニバルの途中に何らかの理由で崖から落ちる。

目が覚めるとGXの世界でデュエルアカデミア受験生となっていた。崖から落ちる際にエースモンスターの『ブラック・レイ・ランサー』を遊馬に渡したため現在の彼のエースは『潜航母艦エアロ・シャーク』となっている。

受験会場に行く際に道に捨てられていた『ペンギン・ソルジャー』を精霊として連れている。

GXの世界に来たときに外見年齢が16歳になっていた。

十代を遊馬に重ねて見ているので面倒見が良い（例・朝にソリッド
ビジョンでたたき起こす）。

現在の目標は遊馬との「必ず帰る」という約束を？との「決着をつ
ける」という目的を果たすため元の世界に帰る方法を見つけること
であり、アカデミアで起こる事件によく首を突っ込む。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8169y/>

遊戯王GX 未来から来た鯨とデュエルアカデミアーのデュエル馬鹿

2011年11月24日07時55分発行